

# 議会から市へ提言

## ～決算審査特別委員会～

9月  
定例会

認定第1号

平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定について

決算を認定するにあたり、指摘・要望等を市に提言しました。

### 一般会計

① 循環型社会の形成を

推進する中で、八女市環境基本計画にも示されているとおり、廃プラスチックの分別及び生ごみの堆肥化を調査研究し、早期に実施いただきたい。なお、廃プラスチックについては、世界的には脱プラスチックの流れにあるが、日本の方向性が見えない現段階では、ダイオキシン及び温室効果ガスの抑制という環境

② 健康寿命の延伸を

目指し、平成28年5月15日「スポーツ・健康づくり都市宣言」を発信したことは、たいへん意義のある、かつ重い事件と受け止めている。平成30年度から毎年、「スポーツ・健康づくりフェスタ」の実施を決定したことは、市民一人ひとりが健康に対する意識を高める契機

③ マイナンバーカード

は、大多数の市民が必要

④ 子育て支援総合施設

においては、医師や臨床心理士等の専門職を配置し、保護者等からの相談に対し、専門的な対応ができる施設にしていきたい。

9月定例会を8月29日から9月21日まで24日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、11億8218万6千円を追加する一般会計補正予算、条例案など議案8件と平成29年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）で、いずれも原案どおり可決・認定しました。  
一般質問は、14人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

対策の観点で、費用対効果も十分考慮し分別仕分けの研究・決定をお願いする。

になったと評価するが、健康増進と医療費削減の観点では、より積極的になり、健康診査を受ける環境づくりが大きな課題であり、健康診査受診率向上のためのあらゆる手段を実行いただきたい。併せて、市民ひとりスポーツを指すために、関係部署間の連携を強化し、スポーツを通じた健康づくりが広がるよう取り組んでいただきたい。

性を感じていないため、申請件数はわずかである。いずれは必需カードになるといふ前提のもと、当市としての具体的な方向性を打ち出していきたい。

### 決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行います。

# 一般会計補正予算

11億8218万6千円を追加  
歳入歳出予算総額367億8770万9千円

主 な 事 業	補 正 額 (千円)
子育て世代包括支援システム構築業務委託料	2, 3 7 6
河川・水路維持工事費	9 2, 0 0 0
黒木中学校屋内運動場長寿命化改修工事費	1 3, 1 0 0
災害復旧工事費・災害応急工事費	9 3 0, 8 0 0

## 八女市横町町家交流館

### 指定管理者決まる

指定管理者 八女福島観光協会

指定期間 平成30年10月1日～

平成33年3月31日



**問** 募集要項を配布されたのが、5月8日から15

日まで8日間であるが、申請を希望する事業者への広報不足で競争原理が働かないのではという思いがある。8日間という配布期間についてどう考えているか。

**答** 視察見学会等には応募者以上の業者が来られていたので、募集期間が短いことが理由で、1社の応募になったとは考えていない。応募期間については、今後応募者の都合も考慮し設定したい。

**問** 質問の回答日から申請期限までが23日間しかなく、事業計画書や収支計画書等の作成が、短期間でよく作成されたと思う反面、内容が安易になる恐れがあるのではないか。このようなスケジュールが一般的なのか、もっと時間をかけて提案書を練ってもらうようにすべきではなかったのか。

**答** 議会の議決等も考慮し10月1日からの指定管理の目標を立て、逆算してのスケジュールとなった。応募者には御苦労おかけしたと思うが、予算を速やかに執行したいということであった。

